

## 【平成 31 年度からの新規疾病予防事業(案)】

### 1 国民健康保険脳ドック事業

- ・脳疾患の早期発見、特に脳卒中の防止のため、30歳以上の国保被保険者が山口労災病院で脳ドックを受診する費用27,000円のうち、およそ85%の23,000円を助成し、受診者の自己負担額を4,000円とすることで受診を促進し医療費の適正化を図る。
- ・脳ドック受診費用が消費税率改正に伴い変更となった場合においても、受診者の自己負担額は4,000円とする。
- ・定員は50名（山口労災病院と協議済）とし、その年度分の申込みを一斉受付し先着順又は抽選により受診者を決定する。

#### [予算要求額]

1,175千円

・脳ドック検診補助金、郵送料

※財源：国保基金

#### (スケジュール)

4月～5月……………募集、受診者決定

6月～翌年3月………受診期間

## 2 国民健康保険糖尿病性腎症重症化予防事業

- ・平成28年4月、日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働省の連名で策定・公表された糖尿病性腎症重症化予防プログラムでは、保険者が課題分析し対策実施することを求めている。
- ・本市の糖尿病性腎症の高リスク被保険者（対象者）を抽出し、重症化予防のための保健指導を行う。

1 糖尿病性腎症の高リスク被保険者（対象者）の抽出（一次抽出）は市で行う。

※抽出方法（山口県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく方法）

前年度のレセプトデータに糖尿病レセプトがあり、さらに腎症がある方や、特定健診データで尿蛋白、eGFRが正常でない方を抽出する。ただし、1型糖尿病、要介護認定を受けている方、人工透析を受けている方等を除く。



2 対象者抽出後、医療機関（かかりつけ医）に参加勧奨を行う対象者の抽出（二次抽出）を依頼し、対象者を決定する。



3 対象者の決定後、参加勧奨を行い、保健指導対象者を決定する。



4 保健指導については、実績のある業者に委託し、電話・面談を通じた保健指導（服薬・生活指導）を行う。

[予算要求額]

3, 023千円

・糖尿病性腎症重症化予防事業委託料、郵送料

※財源：国保基金

(スケジュール)

4月～7月……………対象者の抽出（一次抽出）、医療機関への対象者抽出（二次抽出）依頼

7月～9月……………対象者の決定、参加勧奨

9月～翌年3月……保健指導対象者の決定、保健指導の実施